

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 警告
- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

■吊上げ時および搬送時のご注意

警告					
	本製品を連結した状態での吊上げ作業は行わないでください。変形・落下・けがの原因になります。				
	本製品を吊上げる場合には、必ず2か所で吊上げ、天板の水平面に対して45°以上の角度で均一な荷重にしてください。45°未満の吊上げ角度・吊上げ荷重オーバーは落下・破損の原因になります。 吊角度と吊上げ荷重(2点吊り) <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th>吊角度</th> <th>吊上げ荷重(キャビネット+搭載物)</th> </tr> <tr> <td>45°</td> <td>2.16kN まで</td> </tr> </table>	吊角度	吊上げ荷重(キャビネット+搭載物)	45°	2.16kN まで
吊角度	吊上げ荷重(キャビネット+搭載物)				
45°	2.16kN まで				

注意					
	2つのアイボルトのリングの向きは、上図のように同一平面状になるように取付けてください。吊上げ後には、必ず右表の適正締付トルク値にて、アイボルトを締め直してください。ゆるみによりIP性能を保持することができなくなります。 <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>アイボルト</td> <td>11.8~24.5</td> </tr> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	アイボルト	11.8~24.5
ねじの呼び	適正締付トルク N・m				
アイボルト	11.8~24.5				

■施工上のご注意

警告	
	感電防止のため、必ず接地(アース)をしてください。 アースせよ
	キャビネットを自立させた形状で扉を開ける際には、クレーン、アンカーなどで固定したのを確認してから扉を開けてください。固定せずに扉を開けますと、扉の重みでキャビネットが前倒れし、けがや事故の原因となります。

注意							
	本製品に搭載可能質量を超えるものを取付けないでください。転倒、性能劣化、破損などのおそれがあります。 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th colspan="2">耐荷重性能</th> </tr> <tr> <td>鉄製基板</td> <td>基板単位面積当たり 60kg/ m²</td> </tr> <tr> <td>扉</td> <td>20kg</td> </tr> </table>	耐荷重性能		鉄製基板	基板単位面積当たり 60kg/ m ²	扉	20kg
耐荷重性能							
鉄製基板	基板単位面積当たり 60kg/ m ²						
扉	20kg						
	基台底面のアンカーボルト取付用穴 4-φ20 を使用し、M16 または M12 のアンカーボルトにて床面に固定してください。 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th colspan="2">最小埋込み深さ(L)</th> </tr> <tr> <td>ボルト径 M16</td> <td>70mm</td> </tr> <tr> <td>ボルト径 M12</td> <td>60mm</td> </tr> </table>	最小埋込み深さ(L)		ボルト径 M16	70mm	ボルト径 M12	60mm
最小埋込み深さ(L)							
ボルト径 M16	70mm						
ボルト径 M12	60mm						

⚠ 注意

キャビネットは必ず平行な床面に設置してください。床面が平行でないと扉がひずみ、IP 性能を保持することができなくなります。

床面が平行でなく扉にひずみが生じた場合は、スペーサなどにより設置面が平行になるように調整してください。(右図)

調整方法

扉が①の方向にひずんだときは、

↑①の箇所のどちらか一方にスペーサを入れてください。

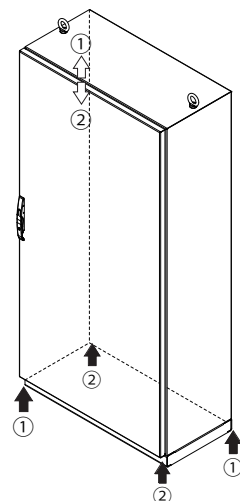
扉が②の方向にひずんだときは、

↑②の箇所のどちらか一方にスペーサを入れ、設置面が水平になるように調整してください。

■オプションパーツのご案内

スペーサには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用いただくと便利です。

品名	品名記号	概要
基台用	BP17-10SU	U 字 (アンカーボルト)
スペーサ	BP17-1030S	50mm 角



■使用上のご注意

⚠ 注意

キャビネットを寝かした状態で扉を開く場合は、扉を固定するなどし、閉まらないようにしてください。体を挟み、けがや事故の原因となります。

穴加工について

- ・LE 形自立キャビネットは IEC 規格 60529 に基づく保護等級 IP65 です。穴加工をするとその性能を得られない場合があります。
- ・穴加工をして取付けるパーツは、保護等級に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。

本製品は屋内専用です。屋外には使用しないでください。

扉は重量物です。一人で着脱作業は行わないでください。けがや事故の原因になります。

天井面への局所的な荷重は避けてください。変形の原因になります。

落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミやひずみが発生し、強度の劣化につながります。

扉を勢いよく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。

太陽光を受ける場所で、長時間ドアを開けたままにしないでください。パッキンの劣化により、キャビネットの IP 性能低下の原因になります。

水や油などが掛かり続ける場所では使用しないでください。パッキンの劣化により、キャビネットの IP 性能低下の原因になります。

パッキンを剥がさないでください。IP 性能を保持することができなくなります。

各種取付ねじの締付けは適正締付トルク値を守り、正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、取付ねじがゆるみ、部品の脱落や保護性能が維持できなくなるおそれがあります。

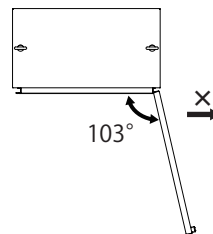
ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M5	1.76 ~ 2.94
M6	2.94 ~ 4.41
M8	7.84 ~ 13.72
M10	14.7 ~ 24.5
M12	46.0 ~ 53.0
アイボルト	11.8 ~ 24.5

※ただし、タップねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。また扉部ではできるだけ蝶番側に設置してください。転倒・破損・けがの原因になります。

ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの拔差しが硬くなるおそれがあります。

扉の開閉角度は約 103°です。扉を開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。蝶番部および扉の変形・破損の原因になります。



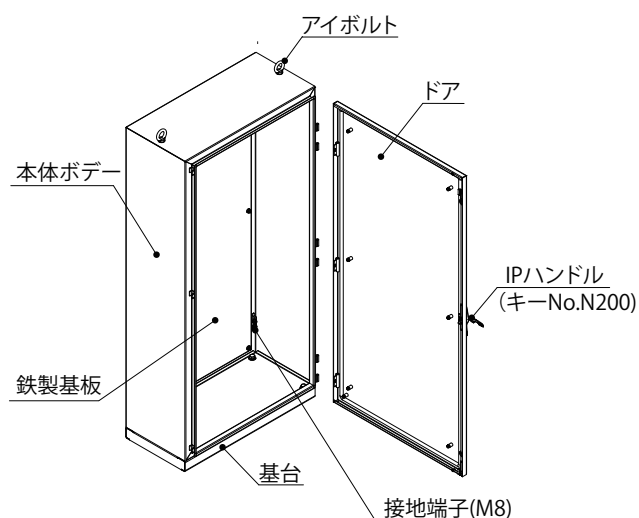
■その他のご注意

工事・据付に関する一般的な注意事項

●次のような場所では使用しないでください。故障・感電・火災の原因になります。

- ・高温となる場所
- ・常時高温となる場所
- ・輻射熱を受ける場所
- ・腐食性ガスのある場所
- ・極度に塵埃やオイルミストが多い場所
- ・可燃性ガスのある場所
- ・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所
- ・振動、衝撃のある場所
- ・導電性粉塵(カーボン繊維、金属粉)のある場所
- ・塩分を多く含んだ場所

■各部の名称



●付属品

名称	数量
アイボルト M12×30	2コ
アイボルトパッキン12	2コ
スプリングワッシャー付ナット M12	2コ
大型角座金12	6コ ※1
アプセットタップボルト M10×30	4コ
3点セムスアースボルト M8×12	2コ
ボンデワッシャー M10	4コ
キー (キーNo.N200)	1コ
LEパッキン	1コ
アプセットボルト M8×28	※ 2
フランジナット M8	※ 3

※1. 付属品のうち、大型角座金4つはアンカーボルト M12 を使用の際に、座金としてお使いください。

※2. H1000、H1200 のとき・・・4 H1400、H1600 のとき・・・6

※3. H1000、H1200 のとき・・・8 H1400、H1600 のとき・・・12

■ハンドルの操作方法

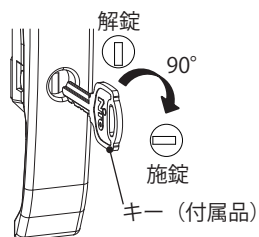
●開け方



●施錠方法

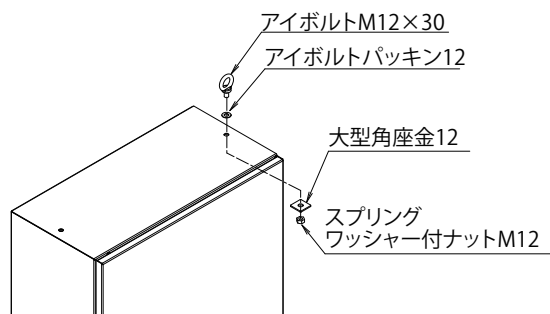
キーを右図のような向きで差し、矢印の方向へ 90°回してください。

●閉め方



■アイボルトの取付方法

アイボルトを取付ける際は、右図のように取付けてください。



⚠ 注意



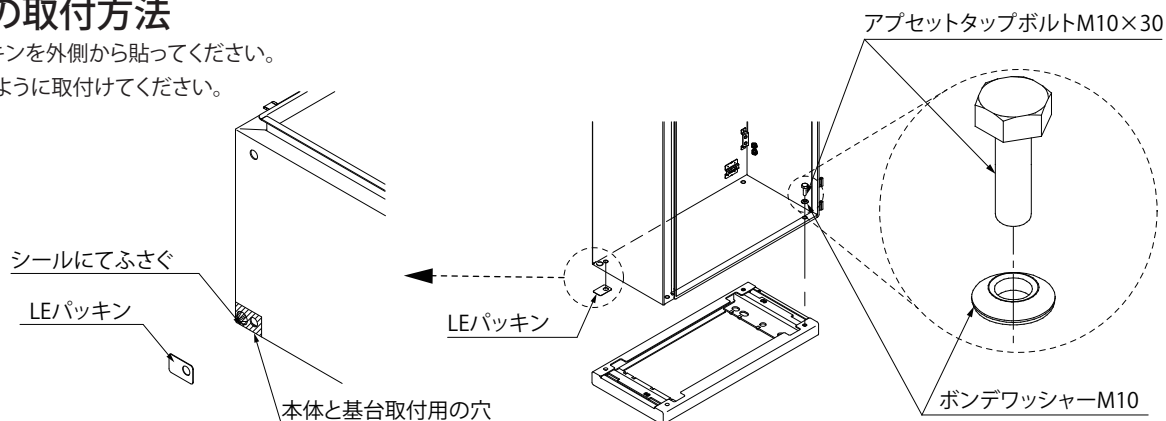
2つのアイボルトのリングの向きは、同一平面状になるように取付けてください。吊上げ後には、必ず右表の適正締付トルク値にて、アイボルトを締め直してください。ゆるみにより IP 性能を保持することができなくなります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
アイボルト	11.8～24.5

ご注意 ・アイボルトパッキンの挟み忘れに気を付けてください。IP 性能が得られない原因になります。

■基台と本体の取付方法

基台底部に LE パッキンを外側から貼ってください。
本体と基台を右図のように取付けてください。



⚠ 注意



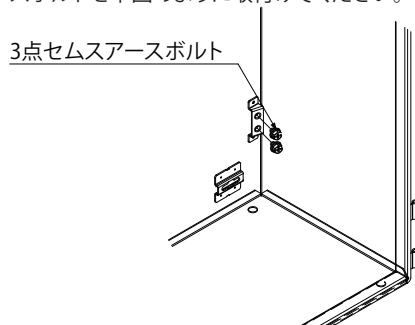
ボルトは確実に締付けてください。締付け不足により IP 性能が得られない原因になります。

先に基台を設置し、その後本体と基台を組付けてください。先に本体と基台を組付けた場合、本体底部に開口がないため、アンカーを設置することができません。

【ご注意】 ・LE パッキンの挟み忘れに気を付けてください。IP 性能が得られない原因になります。

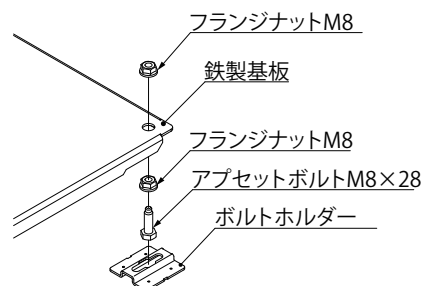
■アースねじの取付方法

付属のアースボルトを下図のように取付けてください。



■鉄製基板の取付方法

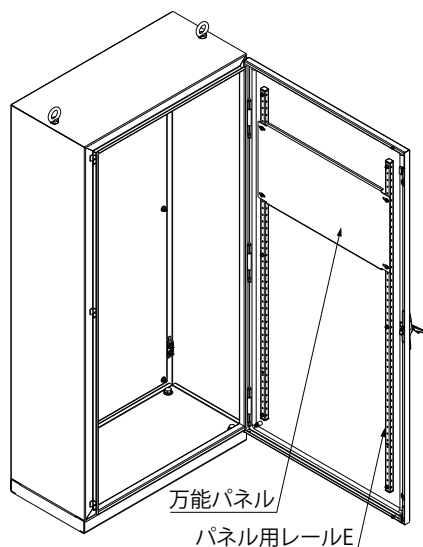
鉄製基板を取外し、再度取付ける際には下図のように取付けてください。



■オプション

扉裏面への機器取付用にご利用ください。

品名	パネル用レール E	万能パネル
LE35-610	EX-10RA	BP22-471P BP22-472P
LE35-612	EX-12RA	
LE35-614	EX-14RA	
LE35-616	EX-16RA	
LE35-710	EX-10RA	BP22-571P BP22-572P BP22-573P
LE35-712	EX-12RA	
LE34-714	EX-14RA	
LE35-716	EX-16RA	
LE35-810	EX-10RA	BP22-671P BP22-672P BP22-673P
LE35-812	EX-12RA	
LE35-814	EX-14RA	



お問い合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

- お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- 個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2019年9月
B912160923
SK-096C

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原 2201 番地